

あなたの心に寄り添う 仙台傾聴の会

傾聴だより

企画・発行
NPO法人仙台傾聴の会
代表 森山 英子
携帯 090-6253-5640

仙台傾聴の会 熊本へ

熊本地震・復興へのボランティア



9月23日～25日、昨年4月大地震被災地熊本慰問に、板橋肇子副代表理事以下、と各支部からの総勢13名が参加。同じ被災地で体験した「心のケア」の傾聴活動を伝えるべく熊本へと向かいました。

震災から1年6ヶ月が過ぎ、仮設団地で暮らす被災者は心に潜むストレスや今後の生活再建の不安等今なお続いています。これらは東日本大震災とまったく同じ被災地で抱える問題だと実感しました。

23日(土)「心のケアを考えるフォーラムINくまもと2017」へ。全国の傾聴ボランティア約100名が参加しました。

臨床ソーシャルワーカー フォーク阿部まり子氏の「聴くことでできる被災者への支援とは」と題した講演は改めて『突然の喪失(災害による)』から『癒しのプロセス』までと心のケアの細かな対応が重要であると学びました。その後は全国からのボランティアのみなさんとの交流会となり歓談と傾聴についての意見交換などで、おおいに盛り上がりました。

24日(日)。熊本市城南町塚原仮設、御船町西往還仮設、上益城郡滝川仮設と13名の会員はそれぞれ分かれて戸別訪問、茶話会へと活動参加しました。塚原仮設では家々の玄関先に「くまモン」の



塚原仮設住宅の皆さんと

元気印の旗がありました。旗の出ていない日は皆さん声掛けして在宅を確認しているという。

茶話会は、東日本大震災時から交流のあった【NPO法人傾聴ネットキーステーション】の7名のボランティアさん案内の元、集会所でのお茶会、傾聴をさせていただきました。10数名の住民の方々が集まって、どこのお茶会でも同じような笑い声と、または涙ぐむ人も居られ、仙台と変わらない光景です。帰り際は以前からの顔見知りだったかの様に住民たちとの握手と笑顔で別れを惜しみました。



「フォーラムinくまもと2017」参加



「元気印」のくまモンの旗



西往還仮設で手作りの石鯊を手に

熊本・被災地からの声

川上 真由美さんの手記



塚原仮設住宅

熊本地震にて、自宅は全壊。

4/15～30（豊田コミュニティセンター）

4/30～8/1（火の君文化センター）

（注：上記は避難所）

8/1～（塚原仮設住宅）。4/14以降とても厳しく大変な生活を主人・義父と送っています。

塚原仮設住宅96戸250人。自治会発足後役員会計をしています。役員は会長、副会長、会計の3人。私は会計だけではなく様々な仕事をしています。1ヶ月前から熊本市社会福祉協議会の方が集会所に一人常駐（月～金）。この4人で何でも話し合い、外部との対応も全て行っています。毎日、たくさんの人と会い、取材も多く受けます。

病氣療養中の義父の（85歳）の世話、自治会の仕事、被災した自宅、仮設住宅の片付け等、日々忙しく駆けまわっています。本当にどうかなりそうです。（中略）

ゴールデンウィークを過ぎた頃からマスコミでの報道が段々減り、6月には激減、あまりにも風化が早く、県外の方は「熊本地震は、もう終わって復旧している。

熊本城、益城町、南阿蘇村は大変そうだけど」と思われているのではないのでしょうか。

取材対象も被害が大きかった益城町、南阿蘇村に集中。私が住んでいる城南町、御船町、甲佐町も酷かったが殆ど報道されず。（中略）

東日本大震災で被災された岩手県ボランティア団体の理事長が話されていました。

「寄り添う報道をされているのか疑問に思う。報道が一部の地域に集中すると被害が深刻な他の地域に支援の手が伸びない。被災地の為になる報道とは何か。岩手では復興の遅れや生活再建をめぐる被災者の格差が生じている。災害から日がたつとマスコミの足は遠ざかるがそんな状況を掘り下げて報じ、被災者の知る権利に応える役割を果たすべきだ。住民には小さな力しかない。被災地の美談を作るより、一つ一つの小さな声を丁寧に伝えて欲しい」。私も全く同感です。

平成28年10月21日付（震災から6ヶ月）

※ この手記を拝見し東日本大震災時は私達も同じような気持ちだったと思い出しました。



仮設住宅に迷い込んだ猫。今は川上さんの飼い猫「ロン」です。



岩沼支部 紹介

傾聴カフェは活動のパワー

岩沼支部は21名の会員で、施設4ヶ所、傾聴カフェ2カ所、地域のサロン2カ所、又個人宅での傾聴も行っています。

活動後の振り返りや定例会で一人一人が話す機会を持つ事で各自の思いや体験を共有しています。迷いや不安に意見を出し合う中で気付きが得られ、頑張りを認め合う言葉が励みとなり、次につながっています。

傾聴カフェは楽しみな存在として皆さんに知られるにつれ、参加する人数が30人以上へと増えてきています。

みんなで一緒に大きな声で歌っているのが、私たち会員の活動のパワーにもなっています。

岩沼支部 井砂ふみ子

岩沼支部傾聴カフェ

★ 岩沼たけくま集会所
第2木曜日

10:00～11:30

★ 玉浦コミュニティーセンター
第4水曜日

第4水曜日

10:00～11:30

（利用は無料です）

公開講座「傾聴の原点に戻る」

東北福祉大学大学院教授 渡部純夫氏

H・29・9・3 於：仙台シルバーセンター

「渡部先生の講座から」

★ 言葉の奥にあるその人の意味を捕まえることが大切。聴く人の感性・生き方・人間関係が反映される。また自分の心情をオープンにしないと聴けないし「聴いてあげましょう、だから言って…」ではだめですね。

話す人、聴く人は対等でオープンな関係です。心の動き、心情、人間性を隠すことなくやり取りの中で出していく。深い所での関わり合いがあるので、言葉だけ（表面的な）が重要だとは思わないし、言葉だけを聞いていくと話し相手を孤立させてしまう。

こういったことを前提として押さえながら「傾聴の原点」に戻ることが大切。

★ 変化し、成長していく心、つき合い支えて後押しをする。悩みながら成長していく姿と対峙しながら繰り返し成長していく。人間は変わる。聴く方の自分も変る。変わっていく事を前提にしながら生きていく。両者の人間性を高め、悔いをきちんと受け止め合っていく事が大切です。



渡部先生と聴講生の皆さん

ただ何でも受容すればいいというものではない。その人、その人の人間性、価値判断が関わってくる。

★ 「傾聴」は関係を作ること、お互いに成長しようという思いがあれば変わっていく。お互いに対等な関係の中でお互いを大切に思う事。枠、ルールがある。

★ 自分の原点（初心とは違う）は押さえしておく。原点がどこにあるかを常に意識しながら。

研修部 星朝子 受講記録より抜粋

※ 編集部：渡部先生の講座内容は一つ一つが傾聴の基本、原点を教えられ、新たな活動の一步にも繋がります。紙面の都合上、全内容を掲載できません。講座を聞き逃した方、改めて聞きたい方、CDに収録してあります。事務局まで

★ 傾聴ボランティア 養成講座 ★

(名取市で開催)

場所：イオンモール名取 ホールB

1日目 10月27日(金)

「傾聴の基本」「共感と受容」

2日目 11月17日(金)

「傾聴のスキル」「ロールプレイング」

3日目 12月15日(金)

「コミュニケーションエクササイズ」

各16:00~18:00の3日間コース

受講料 無料

定員 30名(定員になり次第締め切り)

持ち物 筆記用具、動きやすい服装。

お問い合わせは

NPO法人仙台傾聴の会 ☎ 090-6253-5640

★ 「こころの復興 II」

平成30年春発行お知らせ ★

傾聴の会は平成20年4月に発足し、5年後に「あなたの心によりそう」と題した(傾聴ボランティアの視点I)その後IIを発行しました。

発足10年目にあたり今、復興と言われていますが現状を見てきた傾聴の会員の報告と被災地のこれまでをお伝えできればと編集作業を進めています。



※ 2016年発行の「こころの復興」(傾聴ボランティアの視点)の表紙(A-4版)

29年度 傾聴の会 活動案内



電話 傾聴相談
☎080-3199-4481

傾聴サロン（対面での個別相談）

要予約 ☎090-6253-5640

仙台市福祉プラザ

第1土曜日 10:00~15:00

岩沼市総合福祉センター

第3水曜日 10:00~15:00

名取市市民活動支援センター

第3日曜日 10:00~15:00

塩釜市一番館、または旧公民館

第4日曜日 10:00~15:00

傾聴茶話会（予約不要）

仙台市市民活動サポートセンター4F

第1月曜日 10:30~12:00

名取市箱塚桜団地集会所

第2・3金曜日 10:00~11:30

名取市箱塚屋敷団地集会所

第1・3月曜日 10:00~11:30

名取市雇用促進住宅集会所

第3土曜日 13:30~15:00

名取市入生団地集会所

第4月曜日 10:00~11:30

傾聴カフェ（予約不要）

あすと長町市営住宅1F集会所

第1水曜日 13:30~15:00

あすと長町第2復興住宅1F集会所

第3月曜日 13:30~15:00

あすと長町第3復興住宅1F集会所

第3土曜日 13:30~15:00

田子西第二復興住宅1F集会所

第4金曜日 13:30~15:00

名取イオンモール内2F（つばさの広場）

第1金曜日 13:00~15:00

名取市 美田園北集会所

第2水曜日 10:00~11:30

名取市 高柳集会所

第4金曜日 10:00~11:30

岩沼市たけくま集会所

第2木曜日 10:00~11:30

玉浦コミュニティーセンター

第4水曜日 10:00~11:30

※（サロン、茶話会、カフェは何れも利用は無料です）。

会 員 募 集

仙台傾聴の会のさまざまな事業や活動は、会員の方々の「誰かの役に立ちたい」という情熱と努力によって成り立っています。仙台傾聴の会の趣旨に賛同し、活動とともにできる方、または、応援して下さる方を募集しております。

●正会員（傾聴ボランティアとして活動して頂ける方）

会費： 3,000円/年（ボランティア保険を含む）

●賛助会員（資金面で援助して下さる方）

会費： 3,000円~/年 個人一口

5,000円~/年 団体一口

NPO 法人仙台傾聴の会までお問合せください。

編集後記

9月23日より2泊3日の熊本慰問で13名の会員が傾聴活動をしました。今号は主に熊本震災の記事が多いのですが東日本大震災と同様、今の被災地の状況を皆さんにお伝えしたいという思いからです。

来春3月発行の「こころの復興Ⅱ」ではこの広報誌に紹介しきれなかった熊本慰問の特集を掲載予定です。

編集スタッフ

（岩崎・今野・嶋脇・篠原）

電話での傾聴も受け付けています



ベテランの傾聴ボランティアが対応します。個人情報を守ります。ひとりで悩まず、お電話ください。

☎080-3199-4481

NPO法人仙台傾聴の会

代表理事 森山 英子

〒981-1232

名取市大手町五丁目6-1 名取市市民活動支援センター内



☎090-6253-5640 / Fax 022-343-9705

moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp

ホームページ <http://sendaikeicho.web.fc2.com/>

ブログ <https://kacco.kahoku.co.jp/author/sendaikeicyou>